

過去のQA

今までのRuby合宿で出た質問をまとめてみました



何事にも自信を持って行動できないのですが？



小さくてもいいので、「成功体験」を積み重ねましょう！

最初はあえて簡単な資格の取得するとかの成功体験を重ねて、少しずつ階段を上がる努力を続けていけば、自然と自信を持った行動はできると思います。



会社では資格をたくさん取得されていますが、
おススメはありますか？



就職を考えると情報処理試験。仕事で役立つたの
はORACLE JAVA/ORACLE MASTER

- ・採用側の立場だと情報処理試験を持っている人だと安心感があります。
- ・JavaはJavaSE Bronze(Silver)がおススメ。最近プログラマーであってもデータベース環境を構築しなきゃいけないのでORACLE MASTERはおススメです。
- ・Ruby認定試験は情報処理試験に近い感じで、採用側としては評価しますが、SEとしては実開発で役に立ったことはありません。



個人的には資格に関しては、以下の資格が役に立ちました。

①Java SJC-A(今はない?)

・SE向けの資格ではなく、営業の人とかでもJavaのことがわかることを目指した資格。この資格を勉強することで、はじめてオブジェクト指向がわかりました。

②情報処理試験データベース

・業務ではさんざん触っていたが、初めて体系的にデータベースを勉強できた。特に正規化がよくわかった。

③オラクルマスタSILVER

・開発案件を自社で開発するときに、開発環境を構築するときやトラブルが発生したときに役立っている。ちなみにBronzeはSilverを簡単にした資格なので、Silverまでの取得がおすすめ。



資格取得をたくさん取得されておられるとのことですが、勉強がいやになったりしませんか？



できるだけ気分転換をうまくするようにしています。

飽きてきたら、別の勉強をするとか、机で勉強していたら、コタツに移るとか 自分自身がいやにならないように気をつけています。あと、教材も参考書だと 飽きる時間が早いので、問題集をクイズ的にやるとか、ネットで無償のeラーニングをするとかですね。



採用試験に実際に作ったシステムとかをもっていくのが良いとネットで見たのですが？



悪くはないとは思いますが、できたということよりも、苦労した点とかを説明したほうが良いとは思いますが。

採用する立場上、採用試験で見たいのは、その人が優秀かどうかということもありますが、努力ができる人なのかということを見極めようとはしています。なので、優秀な作品を（その人が作ったかどうかわからないもの）見せられるよりも、「この辺を苦労して、努力して解決しました」という説明の方が良い気がします。